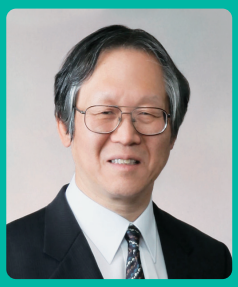
CDC Watch

2023 December 293

株式会社メディコン



矢野 邦夫 先生
浜松市感染症対策調整監
浜松医療センター感染症管理特別顧問

'81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、'89年 フレッドハッチンソン癌研究所、'93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。'96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床、エイズトレーニングセンター臨床研修修了。'97年 感染症内科長／衛生管理室長、'08年 副院長、'20年 院 長補佐、'21年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。
メディコン CDCWatch 検索

先天梅毒および生殖可能年齢の女性の梅毒の診断

CDCがCOVID-19パンデミック前およびパンデミック中の先天梅毒および生殖可能年齢の女性の梅毒［注釈］の診断（シカゴ）について、週報（MMWR）で記述しているので紹介する（1）。

はじめに

- 梅毒には胎児の経胎盤感染のリスクがあるため、妊娠中に特に懸念される感染症である。未治療の梅毒を合併した妊娠は「死産」や「罹患した乳児の長期にわたる身体的および認知的後遺症」などの有害な転帰のリスクが高くなる。
- シカゴ公衆衛生局が先天梅毒撲滅のための取り組み（サーベイランスおよび症例管理システムの改善を含む）を強化したところ、「先天梅毒の全国的な増加」および「生殖可能年齢の女性における地域での梅毒の増加」にもかかわらず、2015年から2019年にかけてシカゴの先天梅毒の症例数は着実に減少した。しかし、COVID-19パンデミックが2020年に始まったことにより、シカゴでの減少傾向は突然変化し、その後3年間で先天梅毒の症例が増加した。

調　査

- シカゴ公衆衛生局は2015～2022年に報告されたすべての先天梅毒の症例について包括的なレビューを実施した。
- 先天梅毒の予防の機会を逸失した場合は、次の5つのカテゴリー（相互に排他的である）のいずれかに分類された。

①適切なタイミングで梅毒診断を受けたにもかかわらず、母体は十分な梅毒治療を受けていない。
②適切なタイミングでの出生前ケアを受けておらず、適切なタイミングでの梅毒検査も受けていない。
③妊娠中の抗体陽性化の発見が遅れた。
④適切なタイミングで出生前ケアを受けたにもかかわらず、適切なタイミングでの梅毒検査を受けていない。
⑤母体が梅毒治療を完了したにもかかわらず、先天梅毒の臨床的エビデンスがある。

結　果（表）

- 2020年から2022年にかけて、シカゴで報告された先天梅毒の症例数は年間平均74.1%増加した。これは、同時期の生殖可能年齢の女性における梅毒の症例数の増加率（年間22.1%）の3倍以上である。生殖可能年齢の女性で報告された梅毒の割合は、2021年と比較して2022年は9.5%減少した。
- 2015年から2019年に発生した先天梅毒の症例67人のうち18人（26.9%）は適切なタイミングでの梅毒診断にもかかわらず、母体の梅毒治療が不十分であったことが原因であった。 2020年から2022年にかけて、この割合は48.3%（89人中43人）に増え、これは約80%の増加に相当する。パンデミックの数年間、この割合は年々増加しており、2020年の31.6%（19人中6人）、2021年の40.0%（25人中10人）、2022年の60.0%（45人中27人）となった。

年、症例数

梅毒と先天性梅毒の特徴	パンデミック前(2015～2019年) 2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2015～2019年の合計	パンデミック中(2020～2022年) 2020年	2021年	2022年	2020～2022年の合計
梅毒および先天性梅毒の症例を有する生殖可能年齢*の女性[前年からの変化率(%)]										
生殖可能年齢の女性におけるⅠ期またはⅡ期梅毒の全症例数	52 [NA]	45 [-3.5]	47 [4.4]	64 [36.2]	79 [23.4]	287	122 [54.4]	148 [21.3]	134 [-9.5]	404**
先天性梅毒の症例の合計数	24 [NA]	12 [-50.0]	11 [-8.3]	11 [—]	9 [-18.2]	67	19 [111.1]	25 [31.2]	45 [80.0]	89***
先天性梅毒の予防の機会の逸失(全体の%)										
適切なタイミングで梅毒診断を受けたにもかかわらず、母体は十分な梅毒治療を受けていない	6(25.0)	1(8.2)	4(36.4)	3(23.1)	4(44.4)	18(26.9)	6(31.6)	10(40.0)	27(60.0)	43(48.3)
適切なタイミングでの出生前ケアを受けておらず、適切なタイミングでの梅毒検査も受けていない	10(41.7)	5(41.7)	4(36.4)	5(38.5)	3(33..3)	27(40.3)	3(15.8)	13(52.0)	10(22.2)	26(29.2)
妊娠中の抗体陽性化の発見が遅れた	5(20.8)	2(16.7)	2(18.2)	3(23.1)	2(22.2)	14(20.9)	10(52.6)	2(8.0)	8(17.8)	20(22.5)
適切なタイミングで出生前ケアを受けたにもかかわらず、適切なタイミングでの梅毒検査を受けていない	0	0	0	0	0	0 (—)	0	0	0	0 (—)
母体が梅毒治療を完了したにもかかわらず、先天梅毒の臨床的エビデンスがある	3(12.5)	4(33.3)	1(9.1)	0	0	8(11.9)	0	0	0	8 (9.0)

*生殖可能年齢の女性は15~44歳であり、生まれたときに女性であること
** 2020-2022年にシカゴで報告された生殖可能年齢の女性における梅毒症例は、年平均22.1%増加した
*** 2020-2022年にシカゴで報告された先天梅毒症例は、平均74.1%増加した

- 2015年から2019年に発生した先天梅毒の症例67人のうち14人（20.9%）は妊娠中の抗体陽性化の発見が遅れたことが原因であった。そのような症例の割合は2020年では大幅に高かったが（19人中10人、52.6%）、妊娠中の抗体陽性化の発見の遅れに起因する先天梅毒の症例の全体的な割合は、2020年から2022年にかけては同程度であった（89人中20人、22.5%）。
- 出生前ケアの欠如や適切なタイミングでの検査の欠如に起因する症例の割合は全体的に減少し、パンデミック前の40.3%（27人）からパンデミック中の29.2%（26人）に減少したが、2021年と2022年のこのカテゴリーの症例数は2015年以降で最高となった。
- パンデミック前またはパンデミック中に適切なタイミングでの出生前ケアが行われたにもかかわらず、適切なタイミングで梅毒検査が行われなかったことによる症例は発生しなかった。
- 2022年は生殖可能年齢の女性における梅毒診断が減少した。

暫定的な結論とアクション

- これらのデータは、シカゴでのパンデミックに関連した先天梅毒症例数の増加は、生殖可能年齢の女性における梅毒症例数の増加だけが原因ではなかった可能性が高く、先天梅毒の予防のための様々な機会の逸失の相対的な寄与が変化したことを示唆している。
- 妊娠中の抗体陽性化の発見の遅れが2020年に増加したことは、パンデミックに伴うクリニック受診の減少と性感染症診療所の閉鎖、対面での出生前ケアではなく遠隔医療が必要となり、採血できなかったことによる梅毒の検査および治療の減少によって説明できるかもしれない。
- パンデミック中に梅毒と診断された母体での不十分な治療が継続的に増加しているのは、少なくとも部分的には、公衆衛生資源がCOVID-19緩和の取り組みに転用され、その結果、妊娠中の患者との接触や治療の確保における問題が増大したことに関係している可能性がある。
- 母体への不十分な梅毒治療の増加は、生殖可能年齢の女性における梅毒症例の穏やかな増加と比較して、先天梅毒症例の不均衡な増加をもたらした可能性がある。
- 2022年の生殖可能年齢の女性における梅毒診断の減少は「検査および治療サービスの改善による実際の症例数の減少」または「診断の減少と症例の過小報告」を示している可能性がある。
- 生殖可能年齢の女性における梅毒および先天梅毒の適切なタイミングでの特定と適切な臨床および公衆衛生管理を支援する取り組みは、先天梅毒の撲滅に向けてシカゴ公衆衛生局が以前に達成した進歩を取り戻すのに役立つ可能性がある。

［文献］
1. Cejtin HE, et al. Diagnosis of Congenital Syphilis and Syphilis Among Females of Reproductive Age Before and During the COVID-19 Pandemic — Chicago, 2015–2022 https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/72/wr/pdfs/mm7247a2-H.pdf

［注釈］ 梅毒は、第5類感染症のため、診断した医師は、7日以内に管轄の保健所に届けることが義務付けらている。

株式会社メディコン
カスタマーサービス www.bdj.co.jp/s/cs/

bd.com/jp/

BD, the BD Logo and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates.
© 2023 BD. All rights reserved.